

## 令和7年度第2回野田市通学区域審議会次第

日時：令和7年10月8日（水）

午前10時から

場所：野田市役所8階大会議室

### 1 開 会

### 2 議 事

#### 答 申

野田市通学区域の設定について

#### 報 告

- (1) 市内小中学校の児童生徒数の推移について
- (2) 小規模特認校（福田第二小学校）の状況について
- (3) 福田地区の学校配置適正化に係る小規模特認校の在り方について
- (4) 学区外就学について

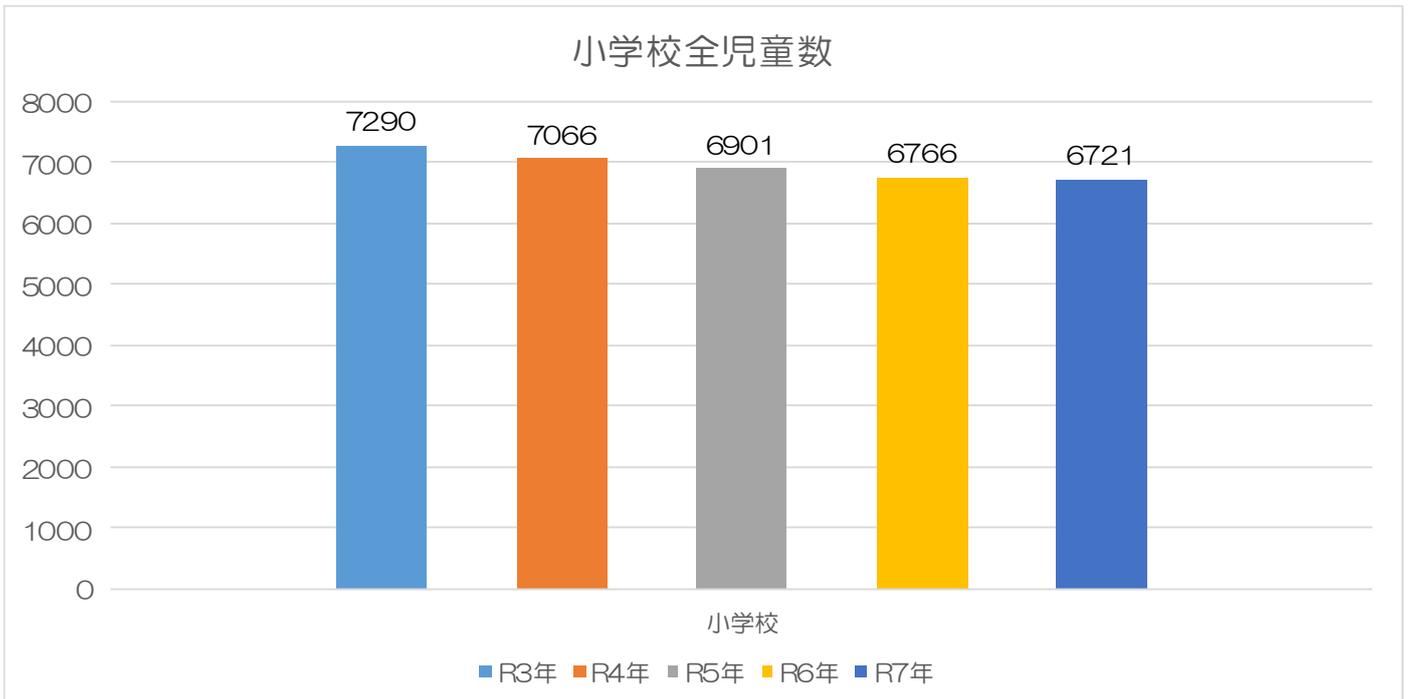
### 3 閉 会

# 令和7年度第2回野田市通学区域審議会

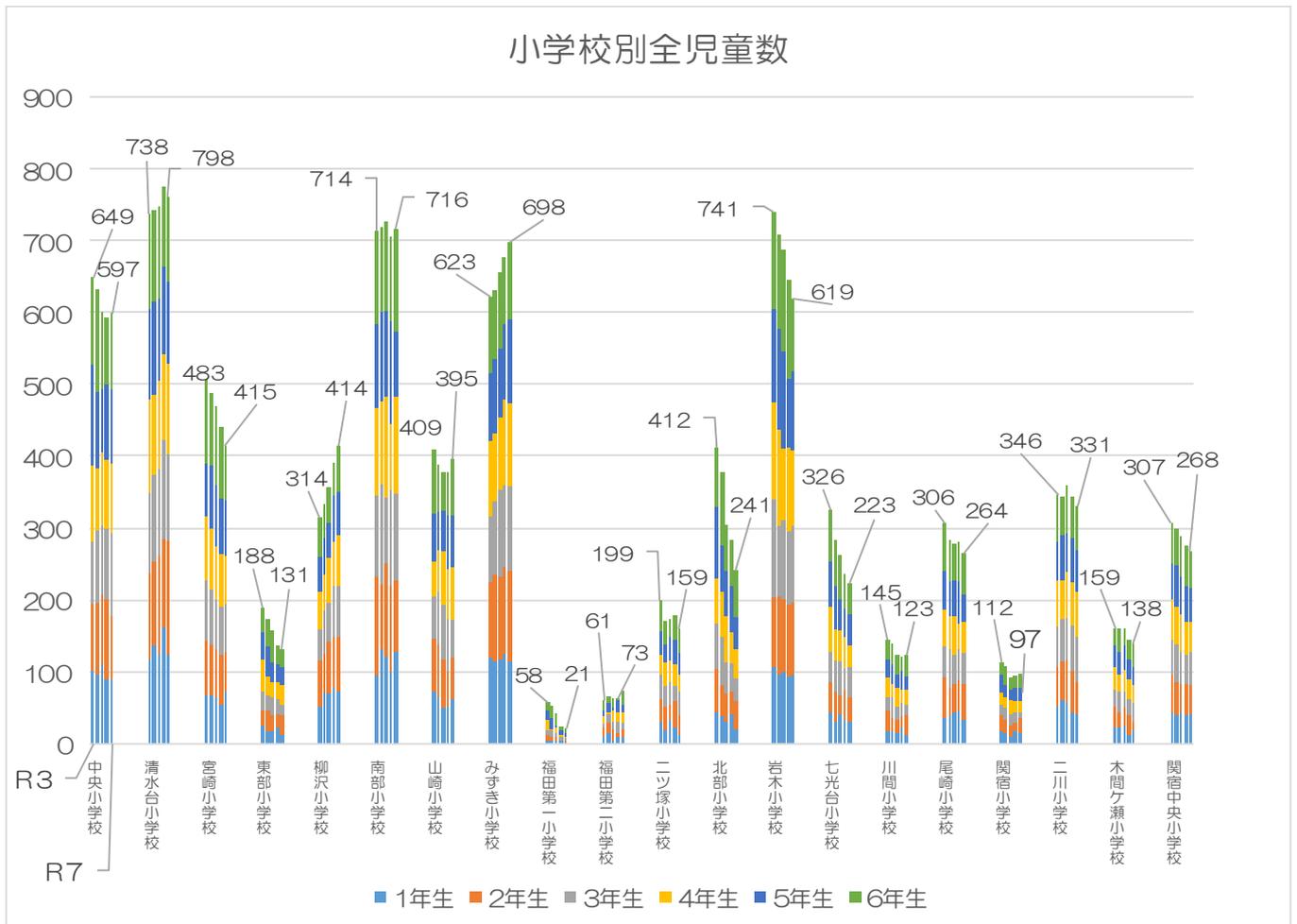
## 報告事項

# (1) 市内小中学校の児童生徒数の推移について

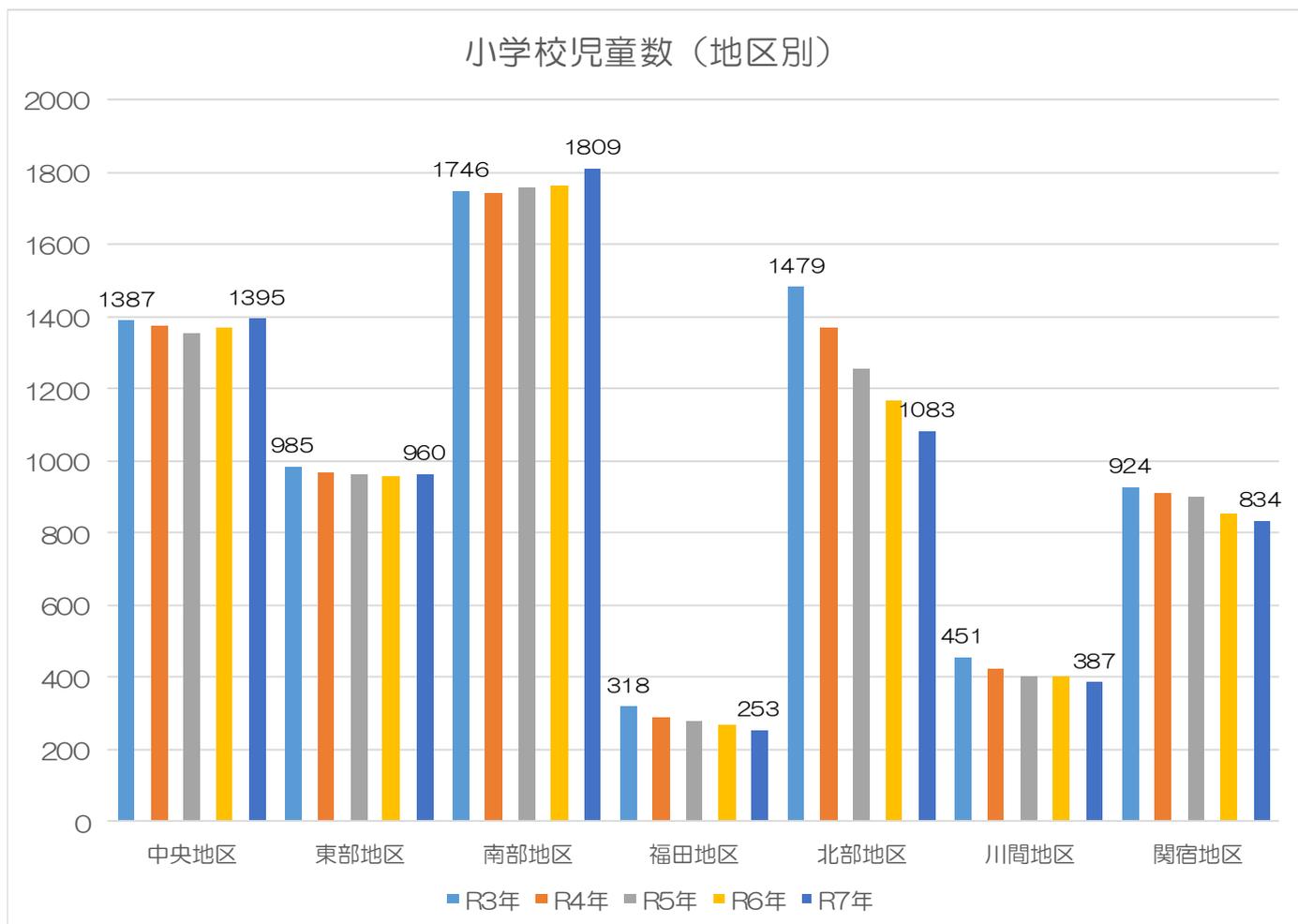
小学校全児童数一覧（各年5月1日現在） ※特別支援学級を含む



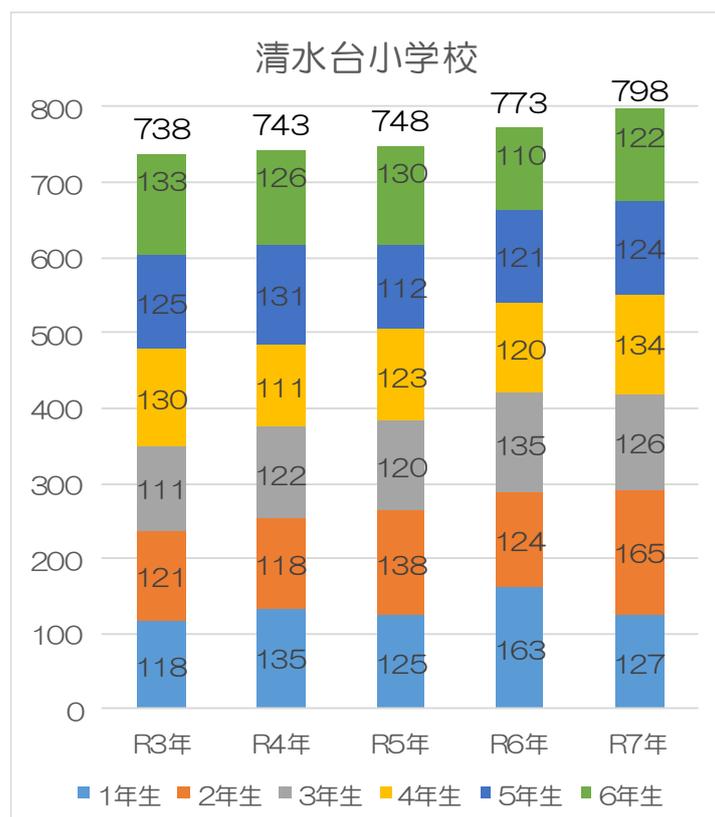
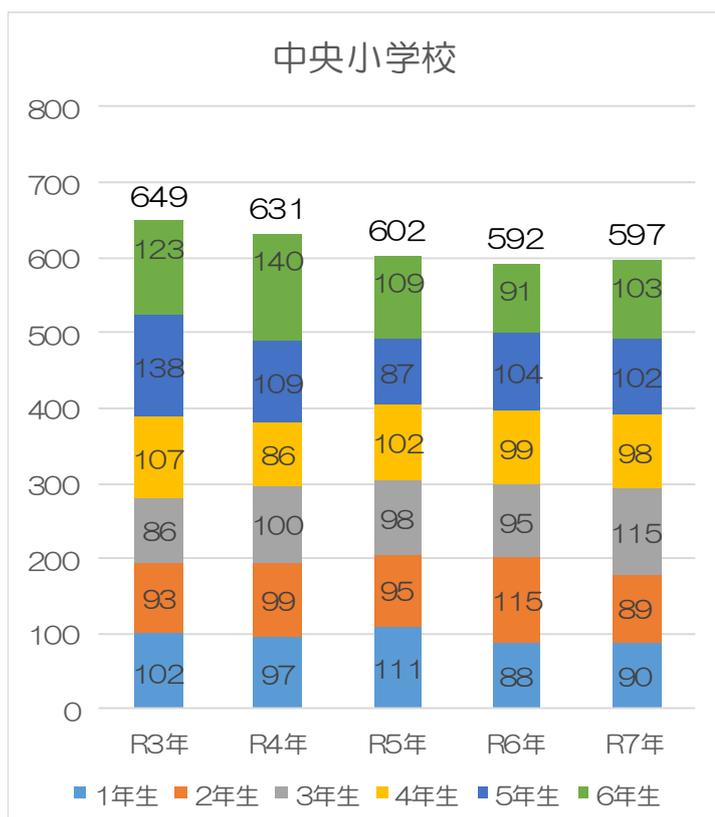
小学校別全児童数一覧



# 小学校児童数（地区別）一覽

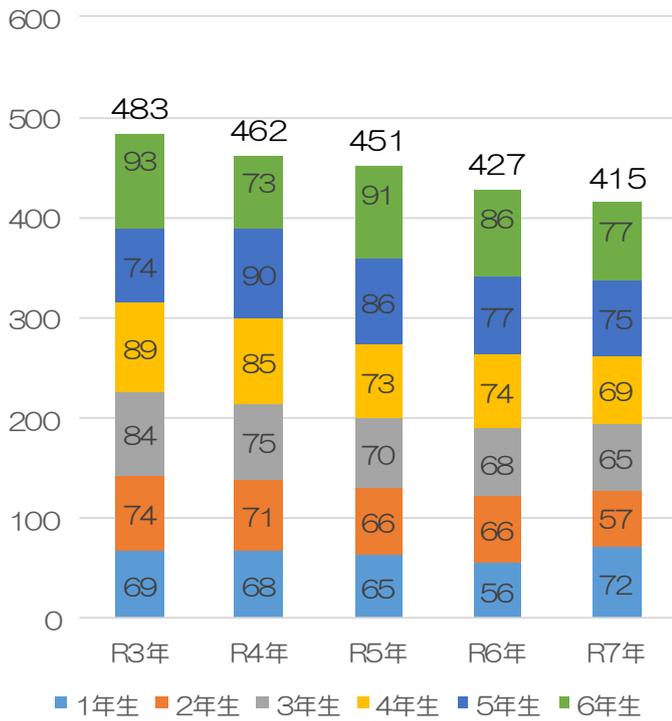


## 中央地区

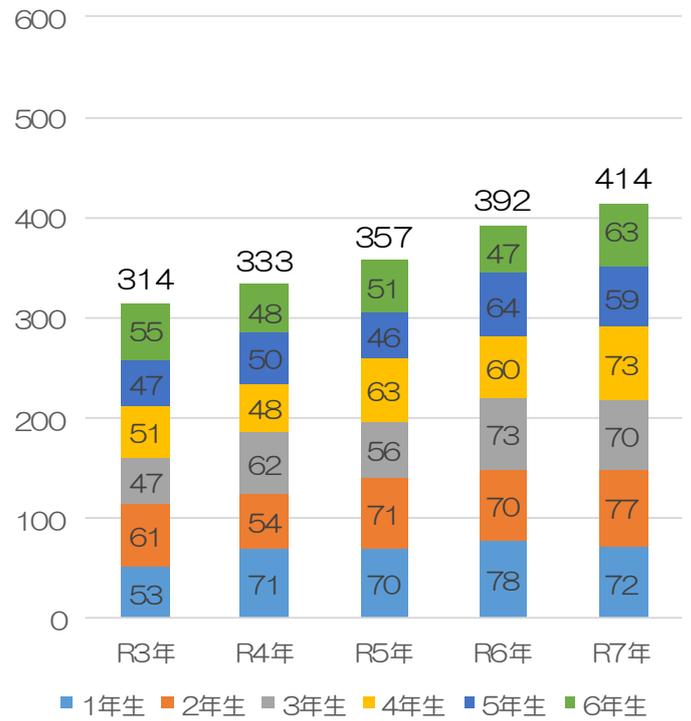


# 東部地区

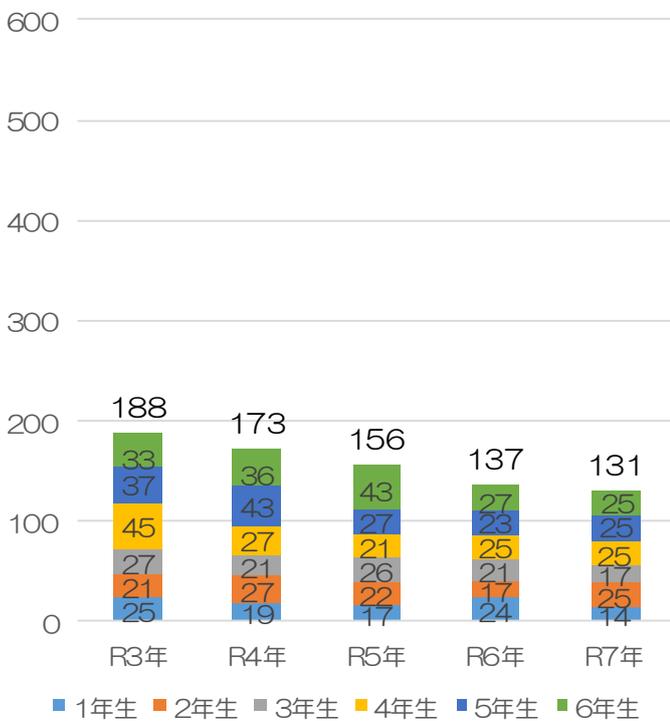
## 宮崎小学校



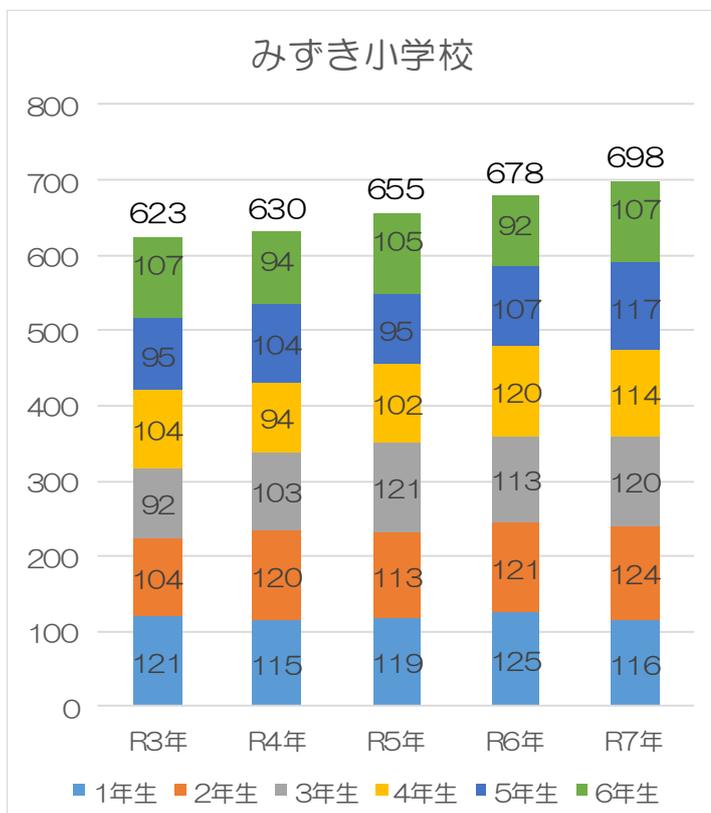
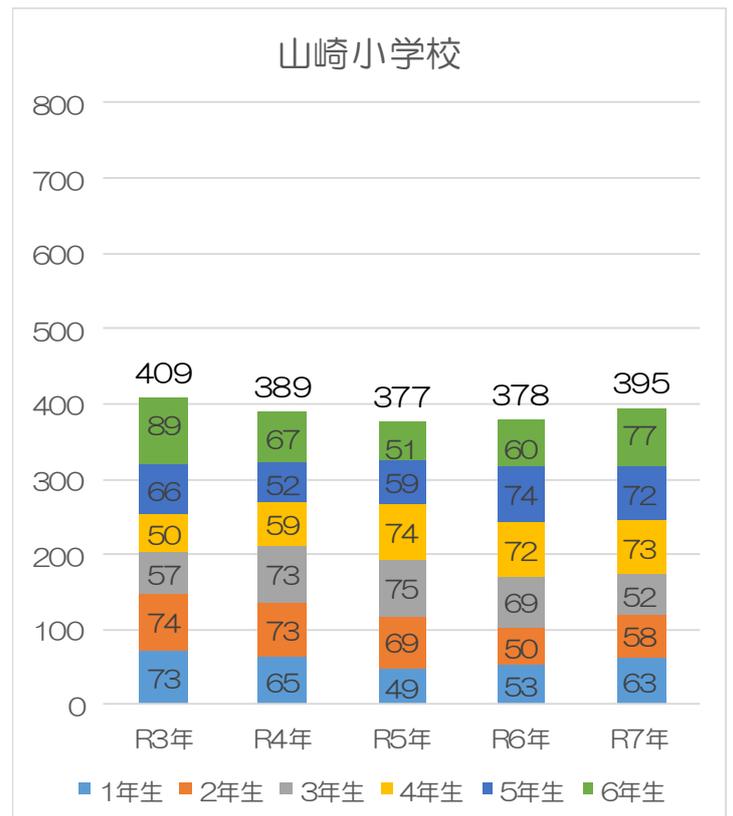
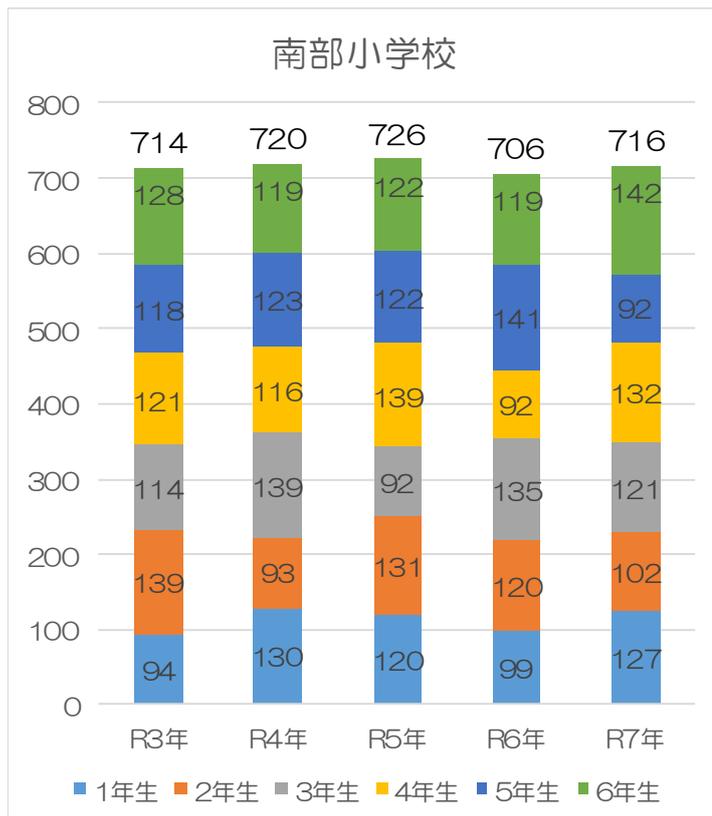
## 柳沢小学校



## 東部小学校

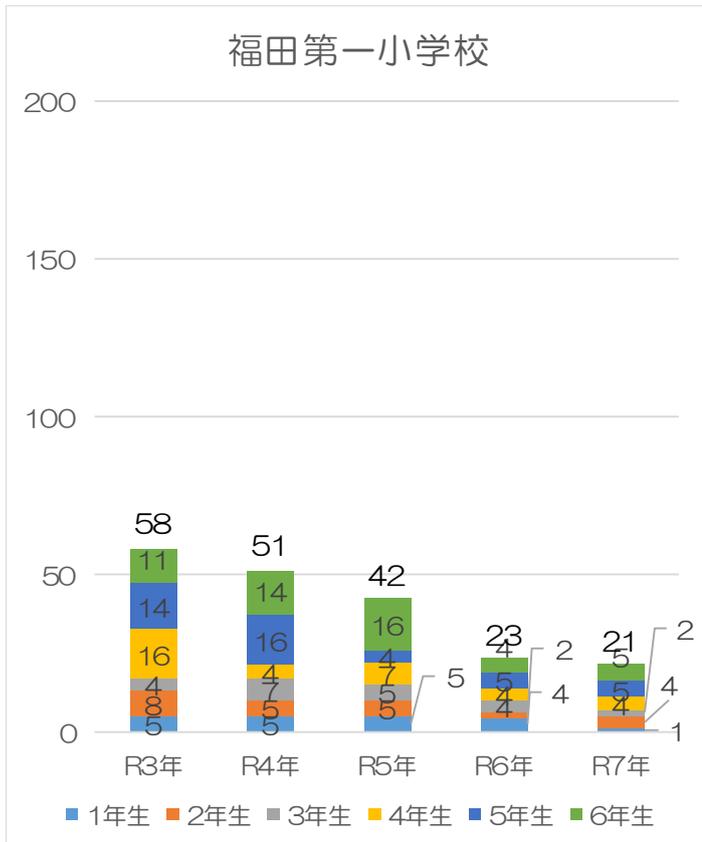


# 南部地区

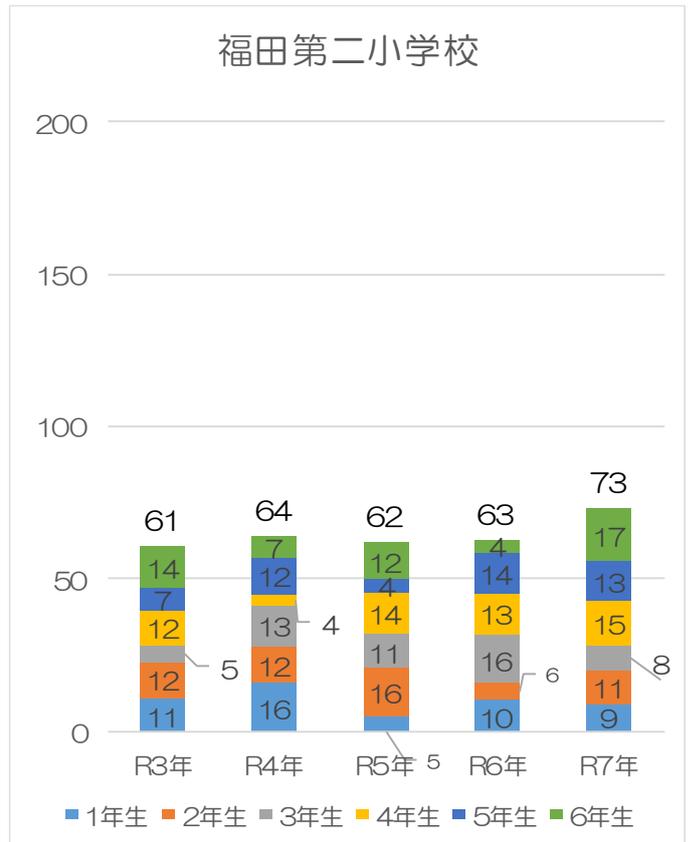


# 福田地区

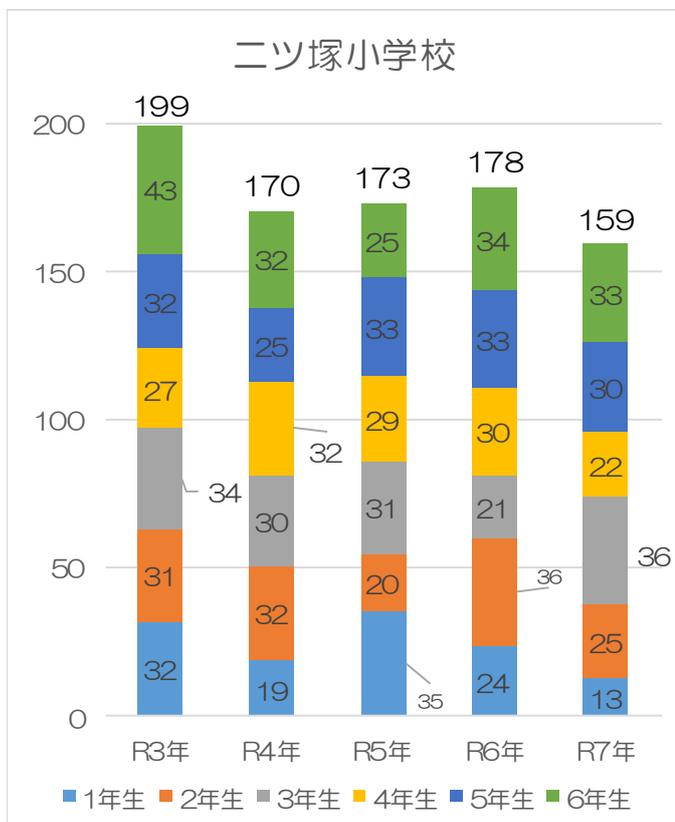
## 福田第一小学校



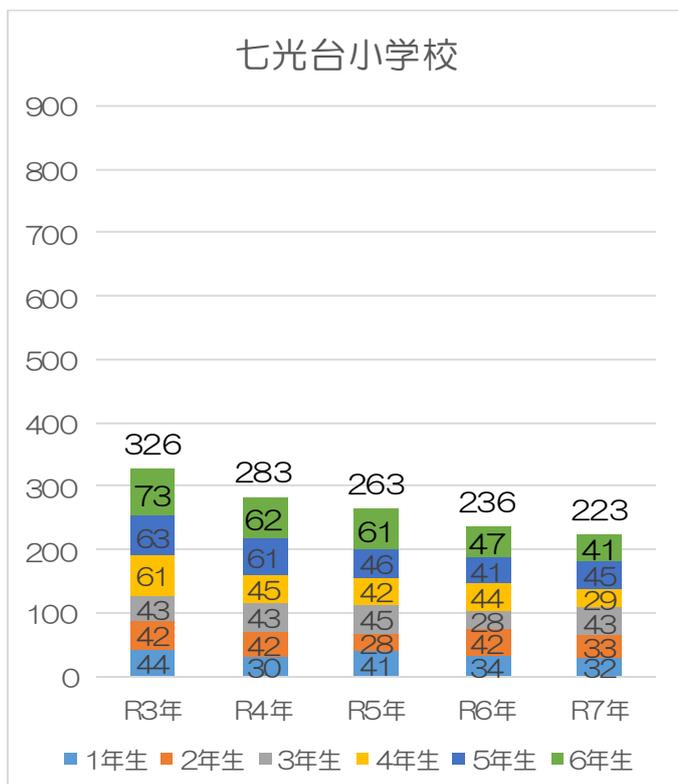
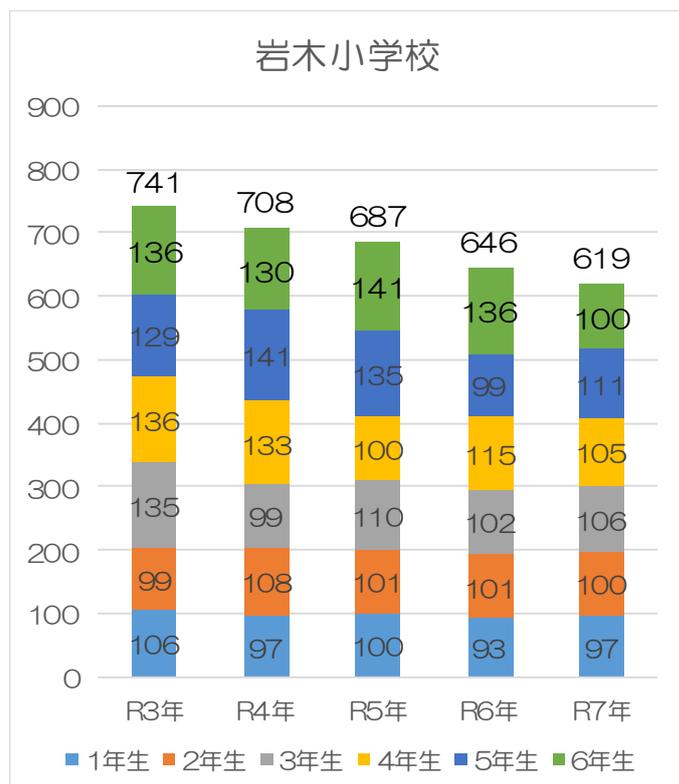
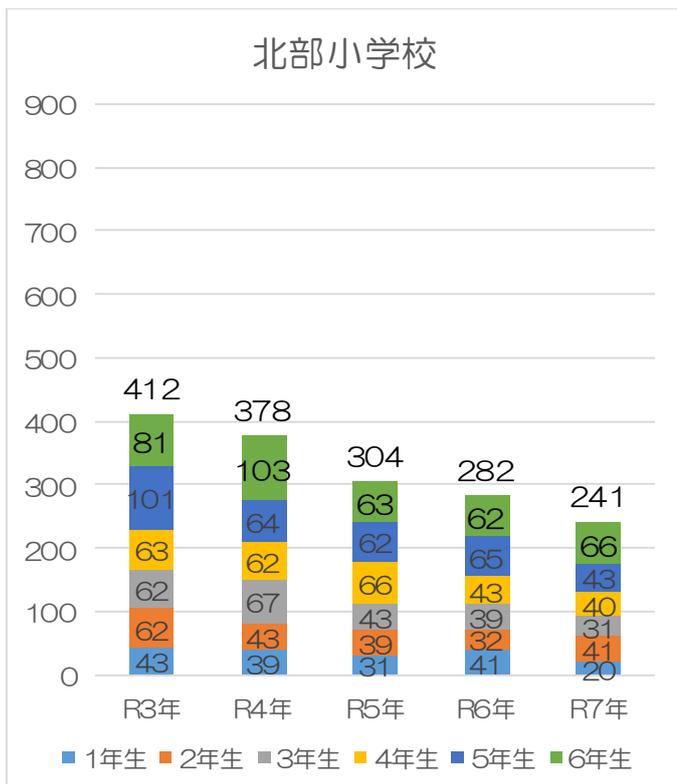
## 福田第二小学校



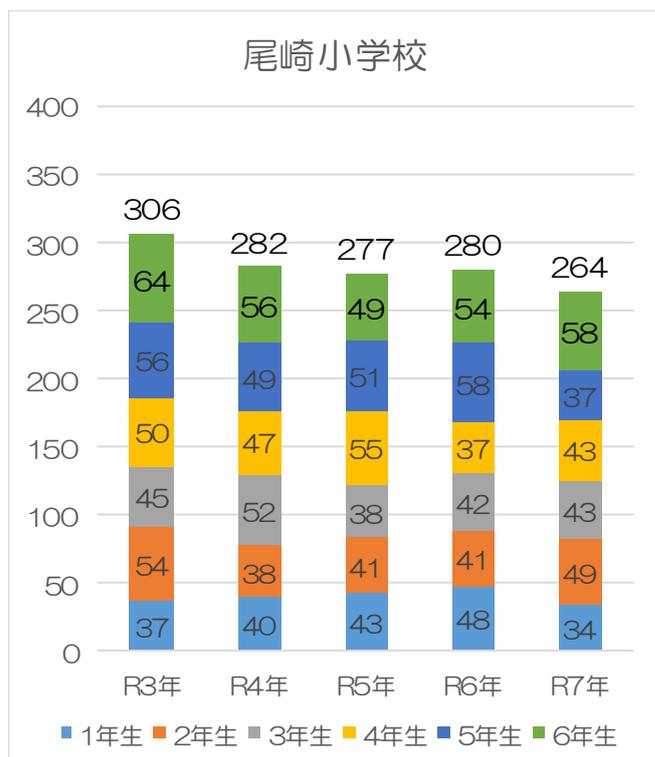
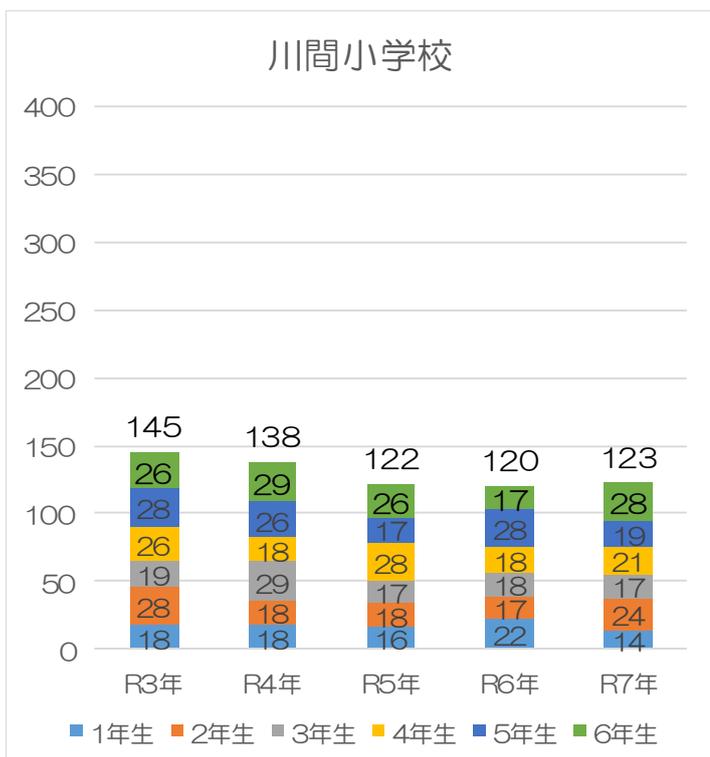
## 二ツ塚小学校



# 北部地区

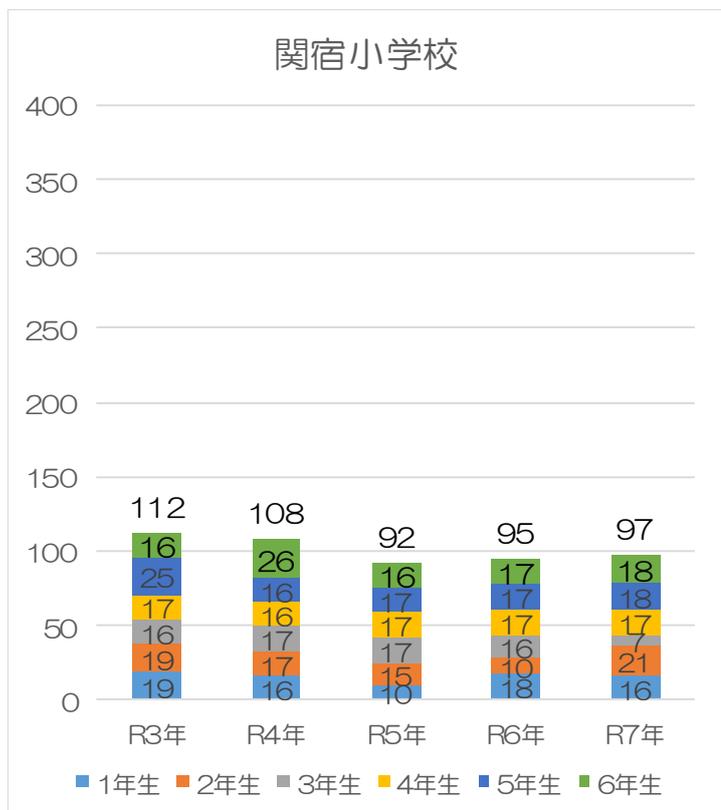


# 川間地区

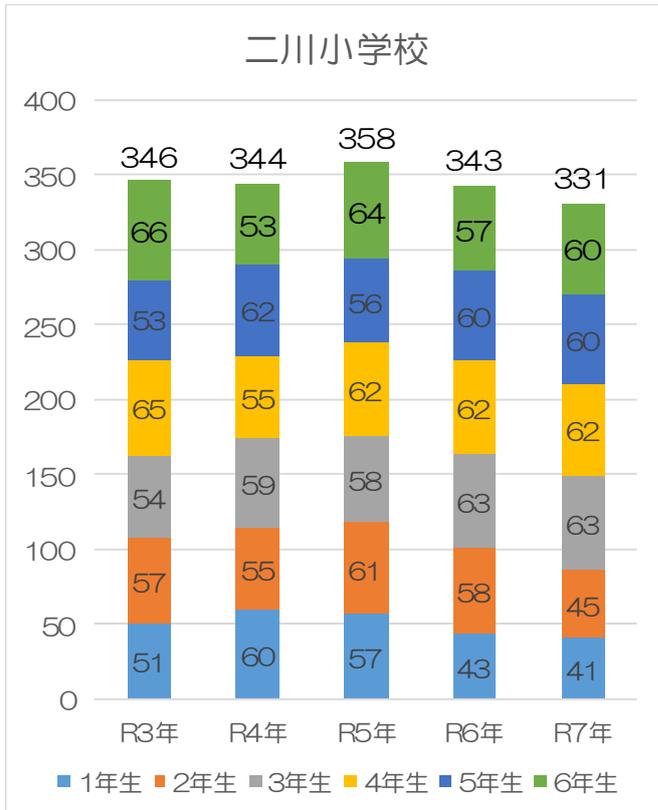


# 関宿地区

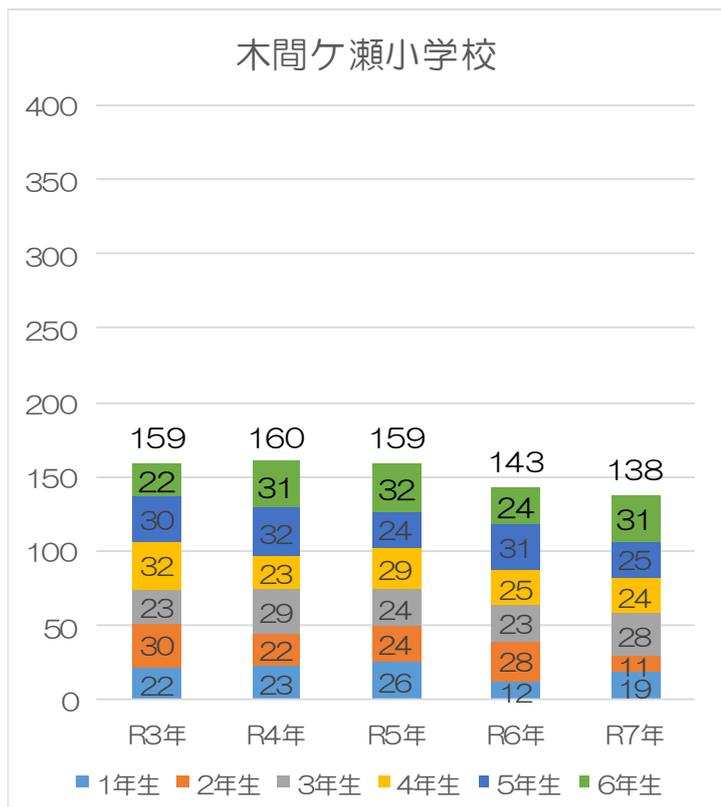
## 関宿小学校



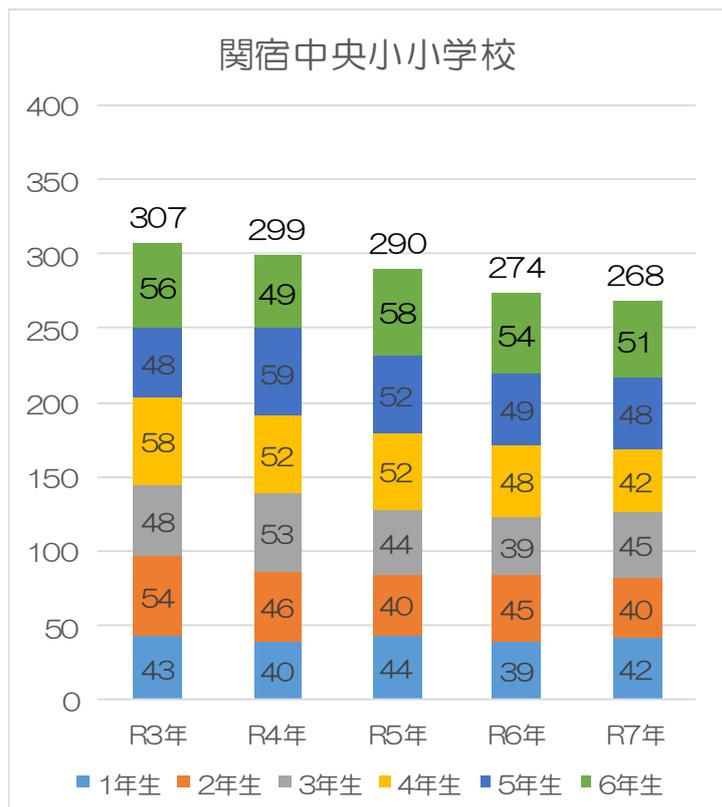
## 二川小学校



## 木間ヶ瀬小学校

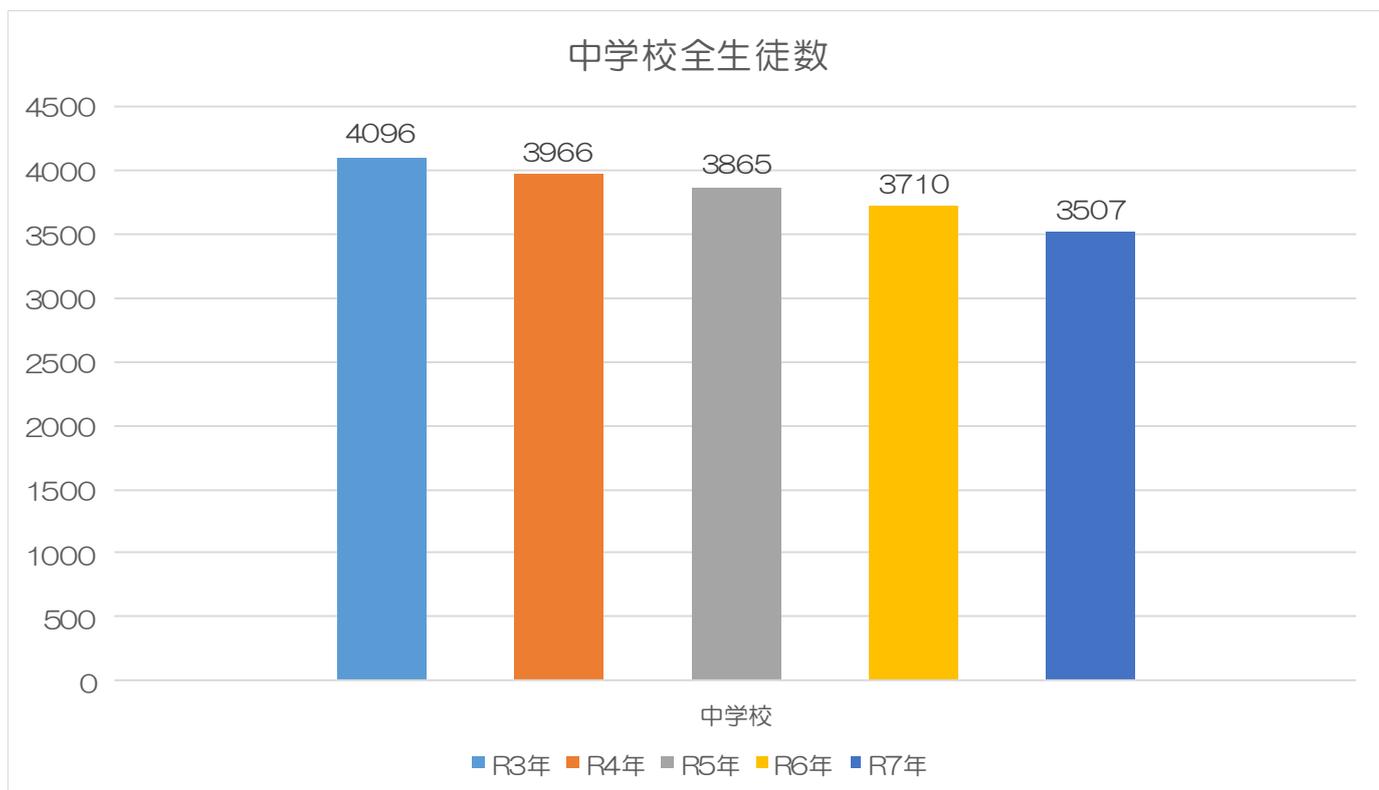


## 関宿中央小小学校

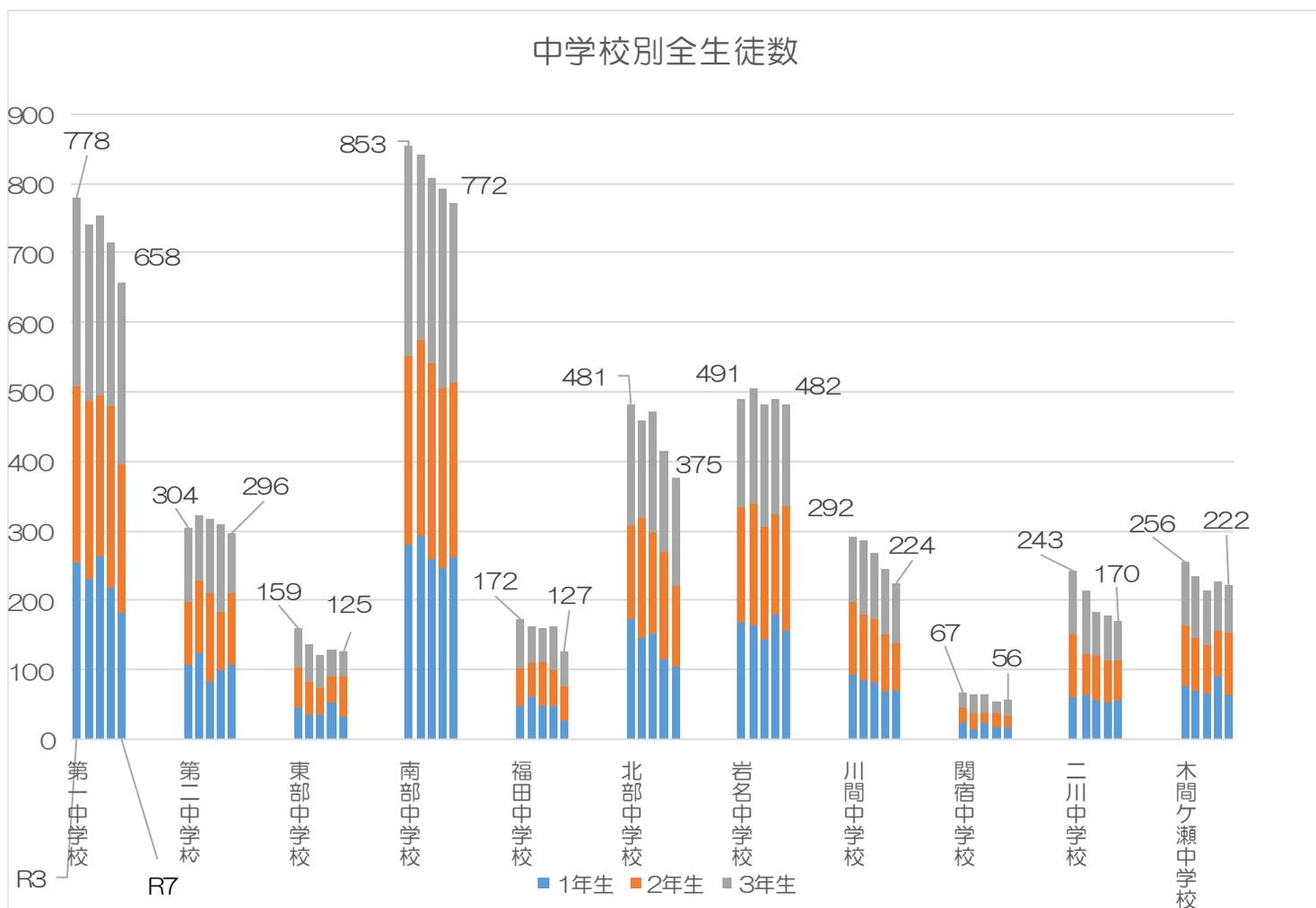


# 中学校全生徒数一覧（各年5月1日現在）

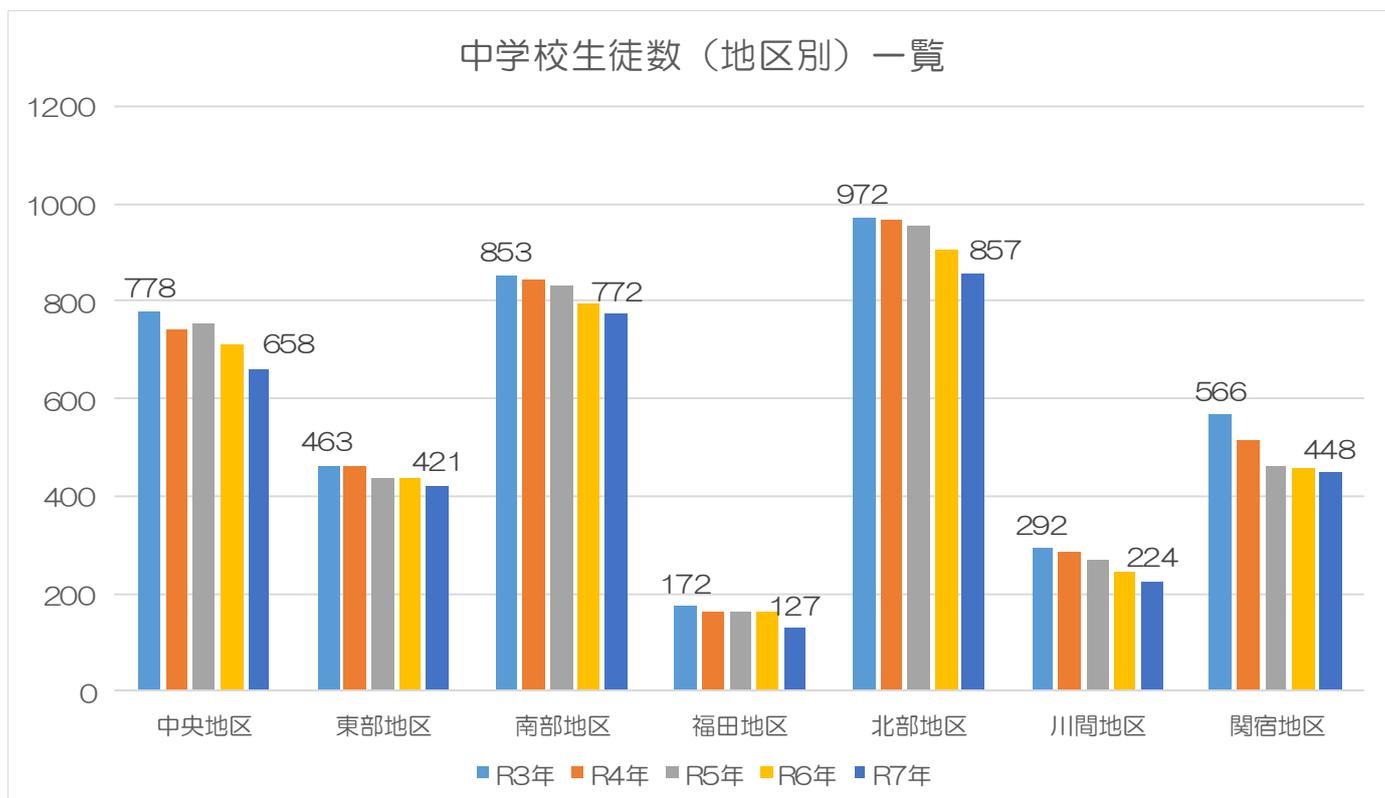
※特別支援学級を含む



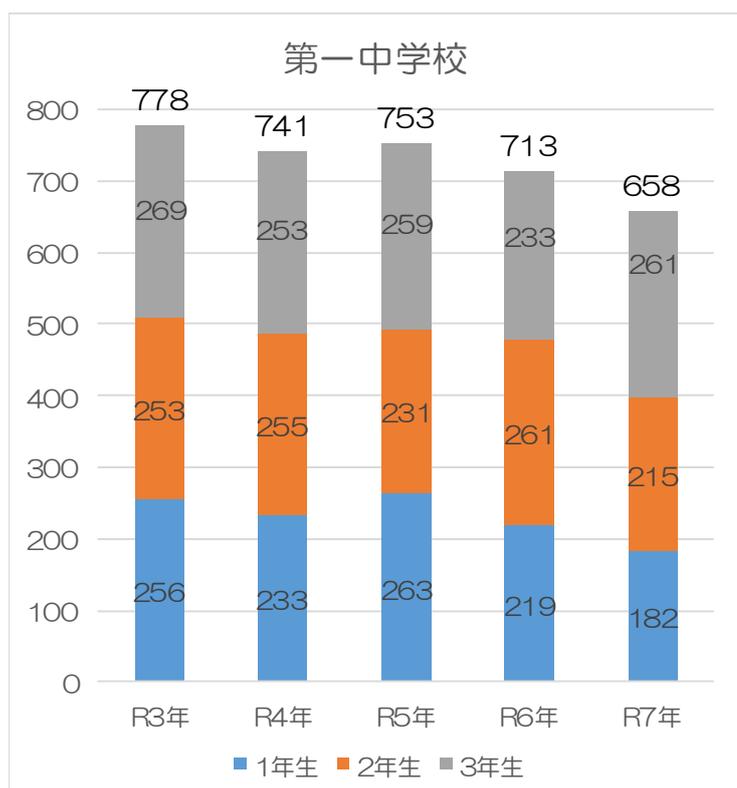
# 中学校別全生徒数一覧



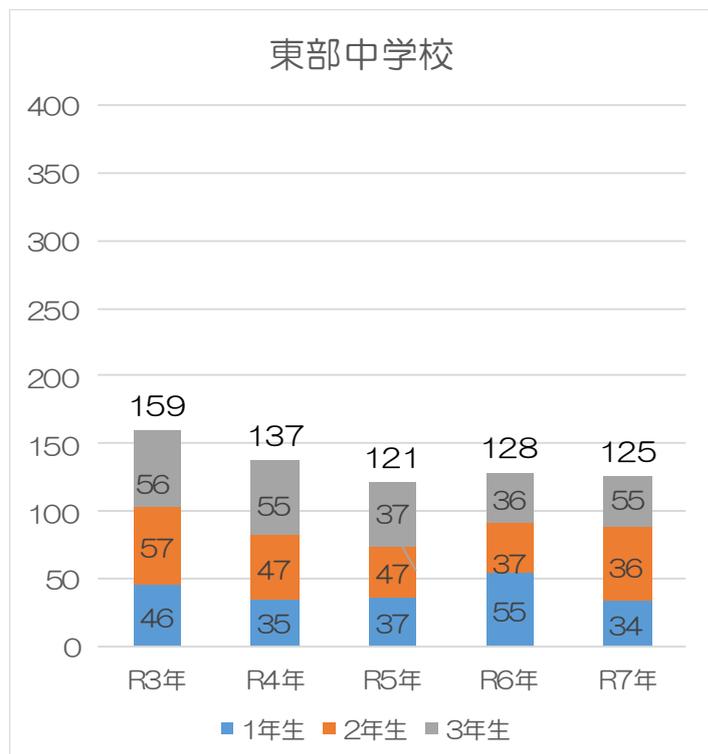
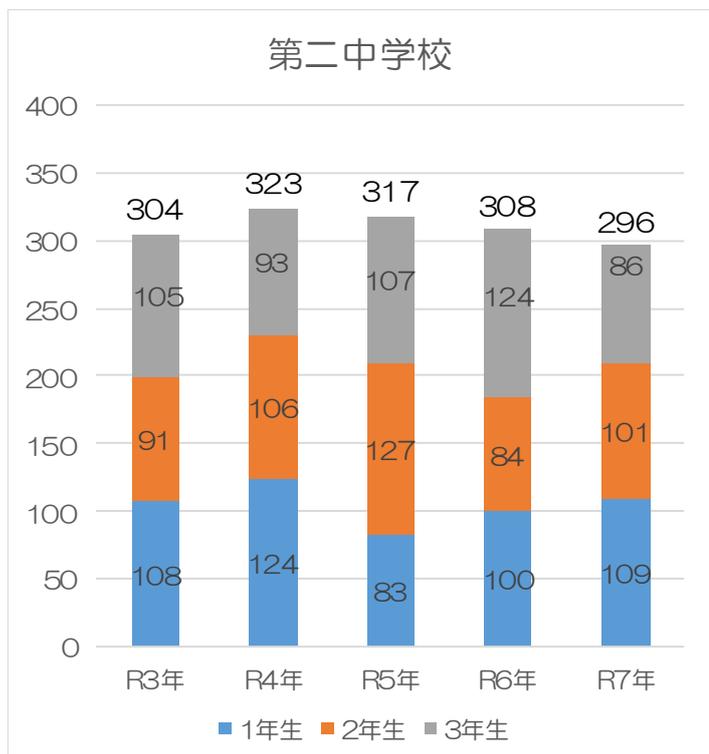
## 中学校生徒数一覽



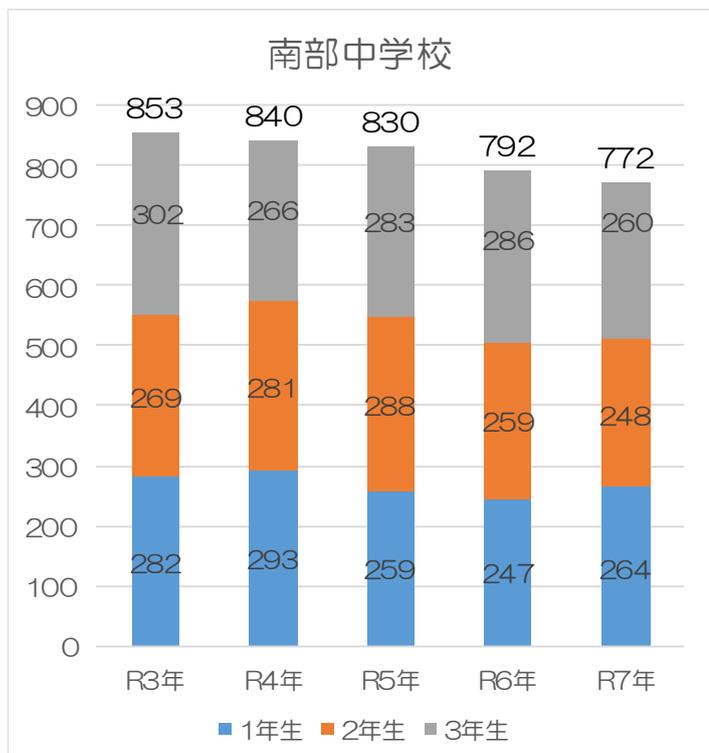
## 中央地区



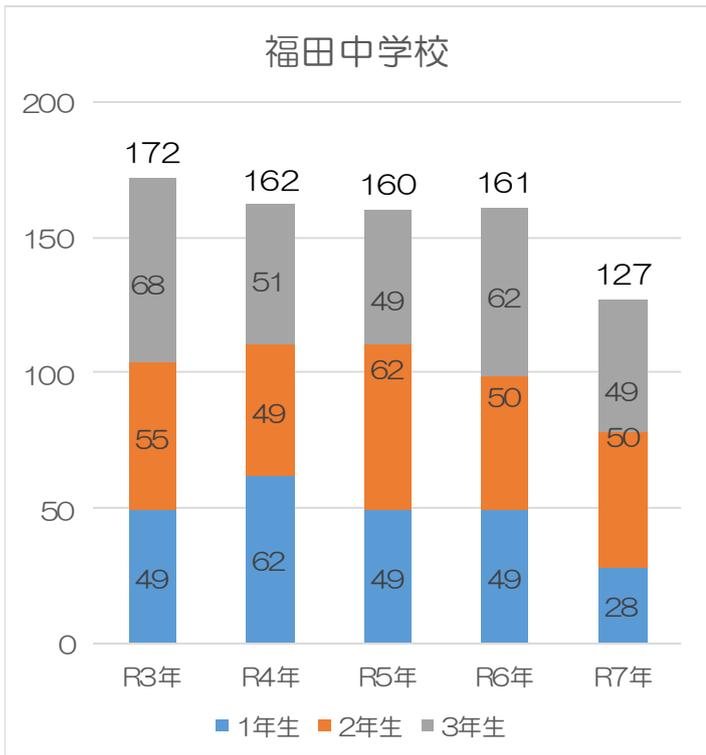
## 東部地区



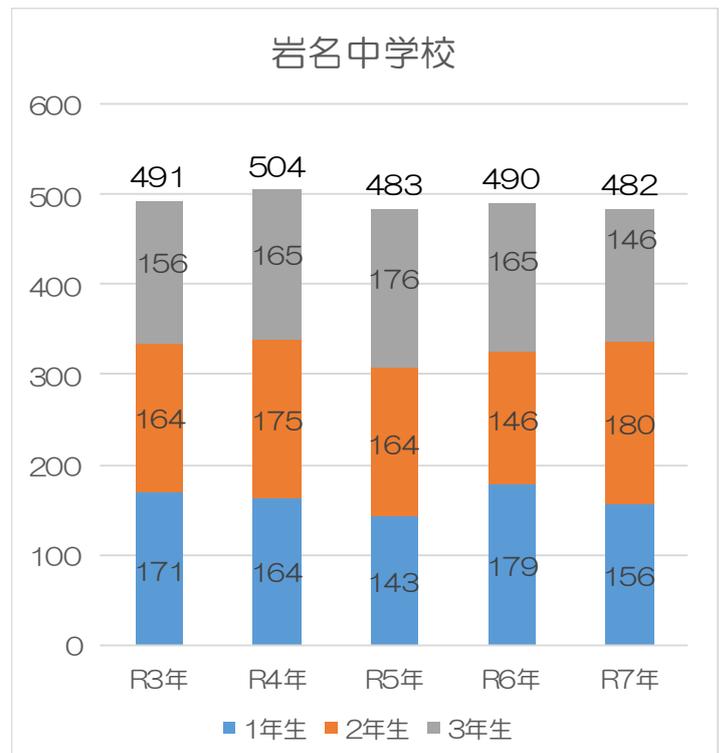
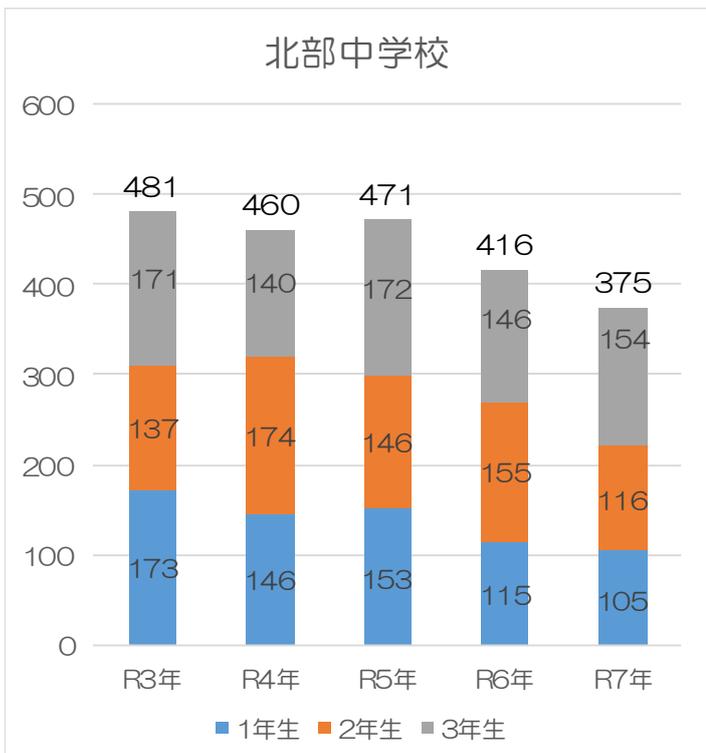
## 南部地区



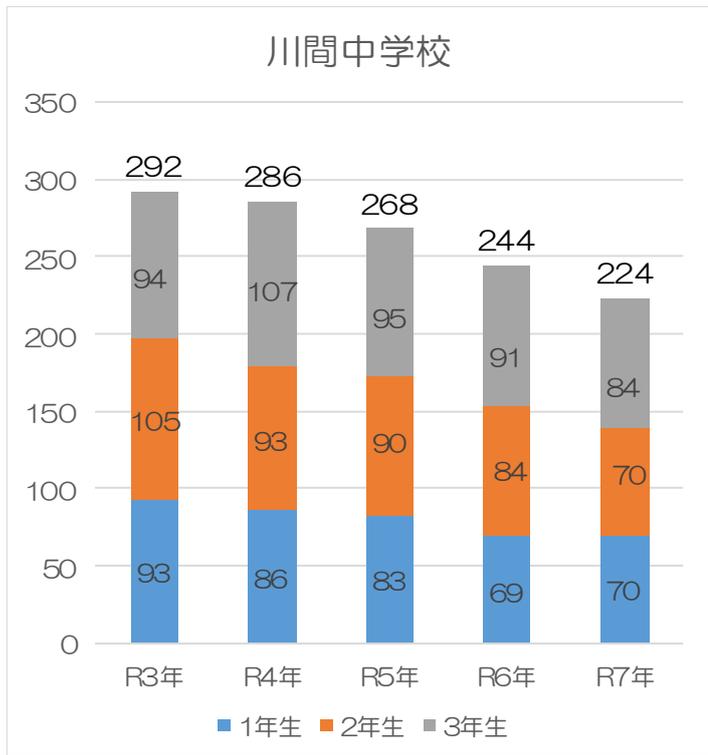
## 福田地区



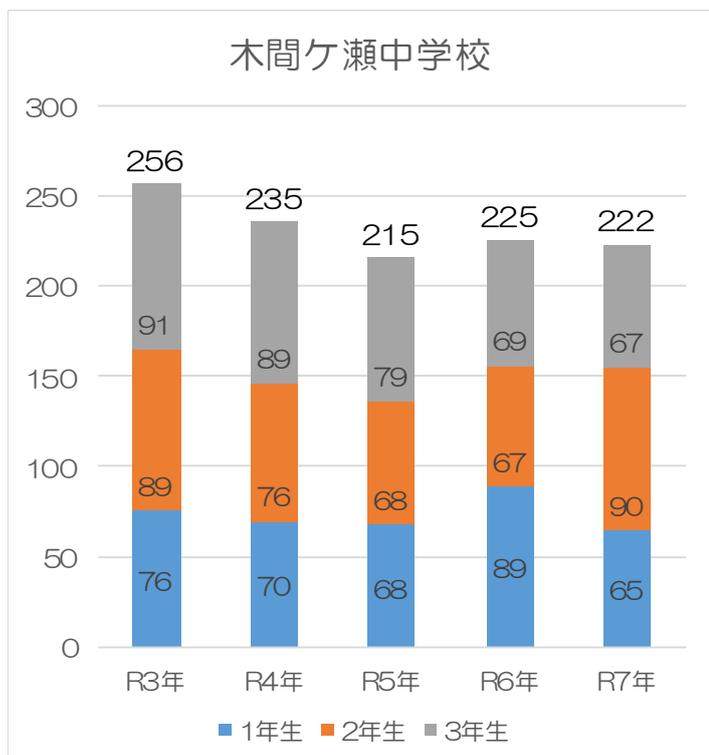
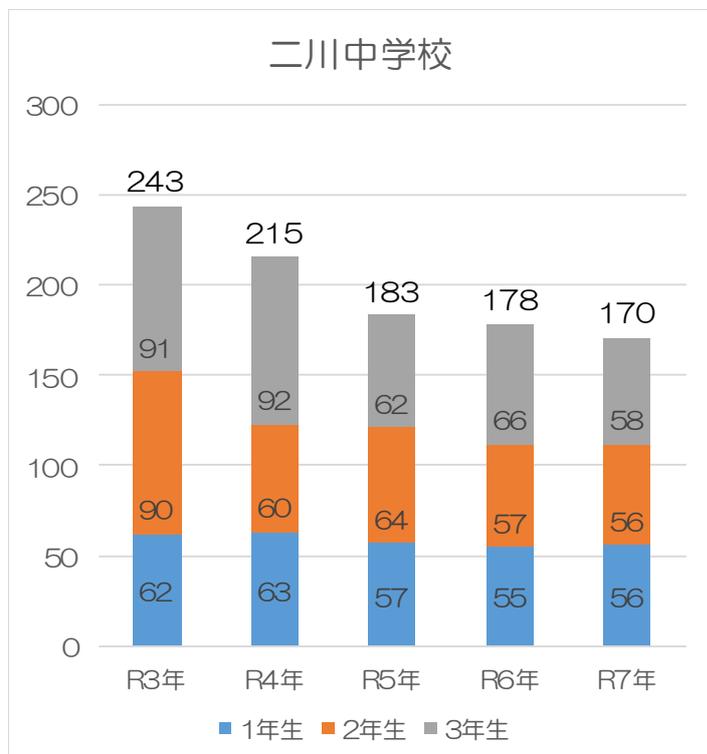
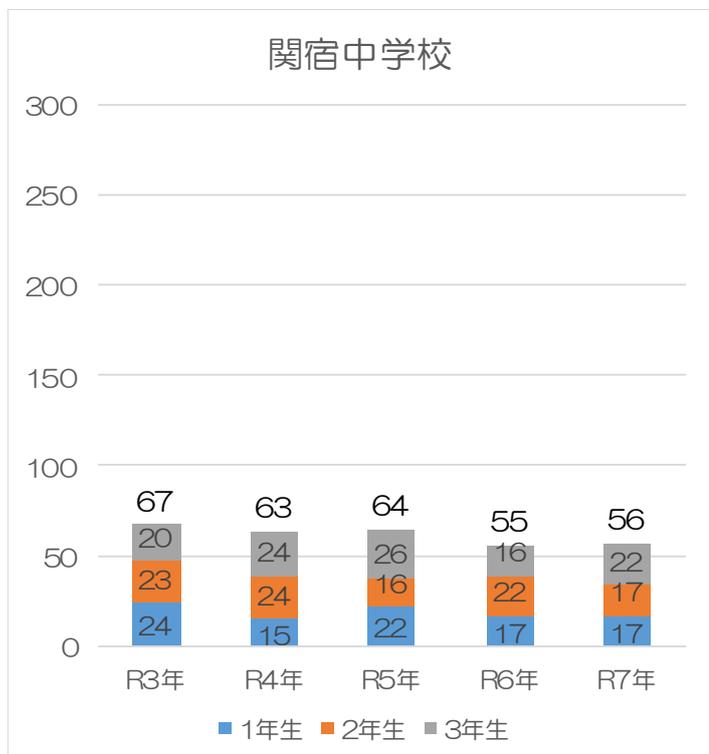
## 北部地区



# 川間地区



## 関宿地区



## (2) 小規模特認校の状況について

### ① 福田第二小児童・学級数の推移予想

	令和5年度 (11/1現在)		令和6年度 (11/1現在)		令和7年度 (9/1現在)		令和8年度		令和9年度	
	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数
6年	0.5	11 (4)	0.5	2 (2)	1	14 (7)	1	11 (7)	1	16 (11)
5年	0.5	2 (2)	0.5	13 (6)	1	11 (7)	1	16 (11)	1	8 (5)
4年	1	10 (3)	1	11 (7)	1	16 (11)	1	8 (5)	1	11 (7)
3年	1	9 (5)	1	16 (10)	1	8 (5)	1	11 (7)	1	8 (8)
2年	1	16 (10)	1	6 (4)	1	11 (7)	1	8 (8)	0.5	4 (0)
1年	1	5 (4)	1	10 (6)	1	8 (8)	1	4 (0)	0.5	3 (0)
特別支援 情緒	2	9 (0)	1	7 (0)	1	6 (0)	1	3 (0)	1	1 (0)
<b>合計</b>	<b>7</b>	<b>62 (28)</b>	<b>6</b>	<b>65 (35)</b>	<b>7</b>	<b>74 (45)</b>	<b>7</b>	<b>61 (38)</b>	<b>6</b>	<b>51 (31)</b>

※ 児童数のカッコ内の数字は、児童数全体のうち特認校制度就学児童数のこと

※ 令和8年度以降の特別支援学級児童は推計できないため含まない

※   は複式学級（1年を除く二つの学年で16人以下）

※ 令和10年度に福田地区で小中一貫教育を実施する義務教育学校を開校します。

小規模特認校の在り方については、令和7年度中に決定します。

## ②小規模特認校制度利用児童の卒業後の進路

福田第二小学校

卒業年度	卒業者	特認利用者	学区外で福中	学区通り	私立	
令和6年度	5	3	0	0	0	学区外で他地区 中学校(2) 野田特(1)
令和5年度	12	5	2	0	1	学区外で他 地区中学校 (2)
令和4年度	7	2	2	0	0	
令和3年度	14	7	4	1	2	
令和2年度	7	4	1	0	1	他地区中学校 特別支援学級 へ(2)
令和元年度	7	2	1	1	0	
平成30年度	13	4	2	1	0	学区外で他 地区中学校 (1)
平成29年度	12	2	0	2	0	
平成28年度	9	4	0	2	2	
平成27年度	17	6	3	2	1	
平成26年度	13	2	1	0	1	
平成25年度	14	9	4	3	2	
平成24年度	15	10	5	3	2	

令和  
8年度

# 児童募集

学校見学・学校説明

随時受け付けいたします。  
お電話で申し込んでください。

## 一人一人が主役です

【小規模特認校制度】児童に少人数での良さを活かした教育を受けさせたい場合、通学区域外からの就学が認められる制度です。

## 小規模特認校の 野田市立福田第二小学校



きめ細やかな学習指導

福にっこりプロジェクトの推進

通級指導教室による支援・指導

外国語活動  
Englishタイム

自然体験学習  
(野菜栽培・田植え・自然観察)

黒酢玄米を使った自校給食  
(千産千消 隣の畑でできた食材使用)

充実した食育活動  
(地域や生産者との連携による)

充実した読書環境  
(読み聞かせ一人一冊希望図書購入)

異学年交流活動  
(なごまし遠足・くんくん遊び・清掃活動)

部活動(太鼓・陸上)

**募集定員** 各学年とも既に在籍している児童を含め原則として16名まで

**募集期間** 令和7年10月1日(水)～令和7年11月28日(金)  
(定員に達しない場合は随時受付ます。)

**許可条件** 心身の状況が遠距離通学に耐え得ること。

**学校見学** いつでも見学できます。ご連絡ください。

**問合せ先**

- 野田市立福田第二小学校 野田市西三ヶ尾988  
☎04-7138-0355
- 野田市教育委員会学校教育課 ☎04-7123-1328

重要な  
お知らせ

令和10年度に福田地区で小中一貫教育を行う義務教育学校を開校します。  
福田地区の学校配置適正化に伴う小規模特認校の在り方については、令和7年度中に決定します。

詳しくは、**ホームページ** <http://schit.net/noda/esfukudadaini/>



## 学級編制と児童数（令和7年8月1日現在）

学 年	特別支援学級	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
男 子	3	6	9	5	9	8	9	49
女 子	3	2	2	3	7	3	5	25
合 計	6	8	11	8	16	11	14	74
特認校制度 就学児童	／	8	7	5	11	7	7	45

### 学校自慢の施設など



廊下から教室を見る



全児童が幅広の机使用



【体育館】  
H26.12月に改築



教室入り口



【校庭】  
豊かな自然環境  
福二小の生き物たち



【図書室】  
地域講師による読み聞かせ活動も  
実施しています。



【けやきルーム(多目的ホール)】  
入学式・卒業式のほか、  
コンサートもできます。



### 学童保育

1年～6年まで(放課後～19時まで)



校地内にあるので安心



室内の遊びのコーナー

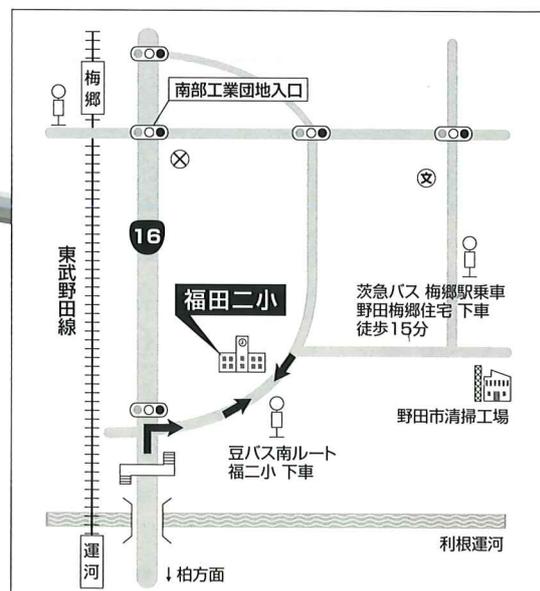


好きな本を読む子

## 『小規模特認校制度』とは？

児童に少人数での良さを活かした教育を受けさせたい場合、通学区域外からの就学が認められる制度です。

※ 特別支援学級の募集はしていません。



### (3) 福田地区の学校配置適正化に係る小規模特認校の在り方について

#### ・市教育委員会内での検討について

福田第二小学校で実施している小規模特認校制度については、その在り方について令和7年度中に決定することとしています。市教育委員会では、現在の小規模特認校制度利用者の現状や卒業後の状況等について調査分析を行い、これまでの実績や課題となっている点を整理し、それらを踏まえた上で、今後の小規模特認校の在り方として、4つの案に整理して検討しました。

- 案1 小規模特認校を他の学校で残す
- 案2 義務教育学校を小規模特認校とする
- 案3 福田第二小学校を小規模特認校として残す
- 案4 義務教育学校での特色ある教育活動を実践する特認校制度を新たに創設する

#### ・市教育委員会からの提案

現在、福田第二小で実施している小規模特認校制度は、複式学級の解消を目的として平成14年度から開始しました。令和10年度に義務教育学校の開校が決定しましたが、開校当初の児童生徒数は、各学年20名～30名となり、複式学級となる学年はなくなる見込みです。また、人口推計からは市内全域の小中学校において、令和10年時点で複式学級となる学年は見られない状況であり、当初の目的であった複式学級解消のための小規模特認校制度は役目を終えたと言えます。しかし、小規模特認校の良さを残した一人一人へのきめ細かな教育を義務教育学校でも実施していくことは、現在の制度利用者だけでなく、福田地区の児童生徒にとっても有益なことであると考えます。

そこで、市教育委員会として案4を提案し、保護者や地域の方々に説明をしているところです。

- 案4 義務教育学校での特色ある教育活動を実践する特認校制度を新たに創設する

特色ある教育活動の一つとして、9年間を見通した指導を挙げ、発達段階に応じたきめ細かな指導を行い、1～4年生は1学級に教員2名体制で、一人一人に丁寧な指導を行うこととします。また、5～6年生は教科担任制を積極的に取り入れ専門性の高い教育を実現するとともに、様々な教職員との触れ合いを通して、自主自律の精神を養います。

特色ある教育活動の趣旨に賛同する場合、市内全域から就学することができます。現在の小規模特認校制度の利用者も新たな制度の趣旨に共感し希望した

場合は、制度を利用し義務教育学校できめ細かな教育を受けることができます。

#### ・義務教育学校での特色ある教育活動の4つの骨子

義務教育学校の開校に向けて、9年間の系統性・連続性を強化した教育課程を編成する必要があります。そのために、まず、9年間を通して行われる義務教育学校での特色ある教育活動を、以下のとおり4つの骨子をまとめました。具体的な教育活動については、現在、義務教育学校教育課程検討会議を開催し、検討しております。

### 1 9年間を見通した指導（個別最適な学びの充実）

＜活動例＞

- ①発達段階に応じたきめ細かな指導の実践
  - ・1～4年生：1学級に常時教員2名体制で指導
  - ・5～6年生：後期課程教員の乗り入れ授業、教科担任制の実施
- ②切れ目のない支援で、小中学校間のギャップを解消
  - ・前・後期課程教員が相互に乗り入れた授業支援
- ③モジュール学習で、基礎学力向上を推進 など

### 2 地域を誇りに思い、地域と共に歩む学校

＜活動例＞

- ①地域の歴史や文化、伝統工芸を学んで伝える「ふるさと科（仮称）」の実施
- ②地域講師や保護者ボランティアによる専門授業や体験指導
- ③系統的な学びによる探究的な課題解決型学習の推進 など

### 3 グローバル社会で通用する英語力の育成

＜活動例＞

- ①1～9年生までの系統的な学びで英語力を育成
- ②ALT との日常的な交流授業
- ③児童生徒の発話機会を増やす取組を実践 など

### 4 日常的な異学年交流で社会性、他者理解を育む

＜活動例＞

- ①異学年合同の探究活動や発表会の実施
- ②縦割りグループによる活動（清掃活動、体育的活動）の充実
- ③異学年合同の交流活動（部活動、クラブ、委員会、スポーツ活動、文化活動）の活性化 など

## (4) 学区外就学許可について

小学校	受付年度	令和5年度		令和6年度	
	新1年生	令和6年度 入学者	95人 (約9%)	令和7年度 入学者	95人 (約9%)
	現1~6年	年度途中の 学区外申請	76人	年度途中の 学区外申請	69人
	合計		171人		164人
主な理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学路が安全、通学距離が短い</li> <li>・ 兄弟が通っている</li> <li>・ 親類の家や勤め先からの通学、帰宅</li> <li>・ 転居予定があるので、初めから</li> </ul>					

中学校	受付年度	令和5年度		令和6年度	
	新1年生	令和6年度 入学者	206人 (約17%)	令和7年度 入学者	187人 (約17%)
	現1~3年	年度途中の 学区外申請	33人	年度途中の 学区外申請	33人
	合計		239人		220人
主な理由（小学校の主な理由のほか） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の人間関係（小学校も学区外だった）</li> <li>・ 部活動の関係</li> </ul>					

